

令和 6 年度 事務事業評価シート

(会計課、議会事務局、監査委員事務局)

- ・ 会計課 1 頁～ 4 頁
- ・ 議会事務局 5 頁～ 10 頁
- ・ 監査委員事務局 11 頁～ 12 頁

菊川市

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	会計課	担当係		重点事業		事業成果	事業課題	①市の指定金融機関等に対して金融機関検査を実施し、経営状況の把握や市税等の収入日計処理方法等の相互確認ができた。 ②毎月資金計画を策定し、適正な資金運用が図られた。	①市の指定金融機関等の経営状況を随時把握する必要がある。 ②出納整理期間等の歳計現金が少ない時期の歳出に対応できるよう、適正な資金運用管理を行う必要がある。	
R6	事業名	財政調整基金事業【会計課】											
総合計画	体系・概要	基本目標	67 行政活動に伴う債権・債務処理が、適正かつ効率的に行われるようにする										
		政策	1 公金の管理及び運用										
		施策	1 確実、安全確保を基本に、公金を管理運用する										
事業の目的	事業の概要	確実、安全確保を基本に公金を管理するため、財政調整基金事業において、財政調整基金等の管理及び指定金融機関等との調整・検査を行い、健全な財政運営を図る。				財政調整基金及び減債基金の満期時期等の管理や指定金融機関との出納事務を円滑に進めるための調整並びに金融機関検査(年1回・3件)を行う。							
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		2	1	3	100000	財政調整基金費【会計課】							
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		772,000		1,437,000		665,000	186.1%		0	0	0	1,268,000	169,000
		項目	R4年度		R5年度		R6年度		事業費内訳				
		予算額	57,000		772,000		1,437,000		節	決算額	節	決算額	
		決算額	29,612		770,725		1,436,311		01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	
		不用額	27,388		1,275		689		02 給料	0	17 備品購入費	0	
		執行率	52.0%		99.8%		100.0%		03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0	
決算(円)	財源内訳	国庫支出金	0		0		0		04 共済費	0	19 扶助費	0	
		県支出金	0		0		0		05 災害補償費	0	20 貸付金	0	
		地方債	0		0		0		06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0	
		その他	29,612		770,878		1,436,311		07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0	
		一般財源	0		△ 153		0		08 旅費	0	23 投資及び出資金	0	
		前年比較	100.0% C		— D		0.0% A		09 交際費	0	24 積立金	1,436,311	
		職員人件費	13,000		14,000		47,000		10 需用費	0	25 寄附金	0	
		総事業コスト	42,612		784,725		1,483,311		11 役務費	0	26 公課費	0	
		前年比較	25.1% A		1841.6% D		189.0% D		12 委託料	0	27 繰出金	0	
		主財源	財政調整基金積立金利子				1,430,654		13 使用料及び賃借料	0	予備費	0	
減債基金積立金利子					5,657		14 工事請負費	0					
							15 原材料費	0	合計	1,436,311			
コスト分析	令和5年度に新たに購入した債券による財政調整基金運用利金額と併せ定期預金利率の上昇による収入があり、財政調整基金積立金利子及び債券購入利金額の積立のための支出金額が増加した。												
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度			
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		成果1	指定金融機関検査回数	件	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
					1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0							
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0							
		事業実施内容	①市の指定金融機関等3件に対して金融機関検査を実施し、監査委員へ報告した。 ②確実、安全確保を基本に公金を管理運用するため、各課からの月別収入予定額・支出予定額の報告により毎月の資金計画を策定した。										
実施内容	R7年度	款	項	目	事業番号	事業名称							
		2	1	3	100000	財政調整基金費【会計課】							
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		3,209,000	1,772,000	223.3%		0	0	0	3,207,000	2,000			
実施内容	R8年度	○公金管理運用業務 ・財政調整基金利子積立 ・減債基金積立金利子積立 ・指定金融機関等の調整・検査 等										下期実施内容変更見込み	
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		1,636,000	△ 1,573,000	51.0%		0	0	0	69,000	1,567,000			
												R7年度比較増減要因 R9年度増減見込み	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 確実・安全を基本に公金を管理運用するにあたり、資金計画を策定し適正かつ効率的に出納管理・資金調達をする必要がある。そのため本事業は必要であるとする。													

事業評価シート

対象年度		事業会計区分		一般会計		担当課		会計課		担当係		重点事業													
R6		事業名		一時借入金金利子償還事業（一般会計）																					
総合計画	体系・概要	基本目標		67 行政活動に伴う債権・債務処理が、適正かつ効率的に行われるようにする																					
		政策		1 公金の管理及び運用																					
		施策		1 確実、安全確保を基本に、公金を管理運用する																					
		確実、安全確保を基本に公金を管理運用するため、一時借入金金利子償還金事業において、資金計画を策定し、安全かつ効率的な資金運用を図る。						事業の概要																	
事業の目的																									
事業成果		・各課からの報告を基に毎月資金計画を策定し、財政調整基金の繰替運用による適切な資金調達を行い、歳計現金の実質不足に対応した。																							
事業課題		・適正な歳計現金の額を把握するため、各担当の資金計画への確実な入力を求め、資金計画の必要性を示し入力漏れがある部署については直接指導を行う必要がある。																							
評価分析・総合判定評価		各評価結果										総合判定評価													
事業コスト分析		決算前年比		一般財源 3145.9% D 総事業コスト 433.8% D		成果 効率		1 2 1		B 効率		評価視点 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000		事業内容評価		B		事業の進め方の改善の検討							
														R8年度の方向性		コスト		縮小↓		成果		維持→			
														改善		①事業の進め方									
														担当評価		財政調整基金の繰替運用を実施し支出を最小限に抑えることができた。必要コストのみで事業が構成され執行していることから、現状維持が妥当である。									
加える変化		課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性 ・繰替運用に伴う支出金額を最小限にするため、精度の高い資金計画を策定し歳計現金を把握したうえで、必要最低限の財政調整基金の繰替運用を実施する。																							
実行計画事業（円）		款 項 目		事業番号		事業名称																			
12 1 2		200000		一時借入金金利子償還費（一般会計）																					
R5年度 R6年度 前年増減 前年比 財源内訳		国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源		0 0 0 0 126,000																					
項目 R4年度 R5年度 R6年度 事業費内訳		予算額 233,000 125,000 126,000		節 決算額 節 決算額		01 報酬 0 16 公有財産購入費 0																			
決算額 1,338 3,974 125,018		不用額 231,662 121,026 982		02 給料 0 17 備品購入費 0		03 職員手当等 0 18 負担金、補助及び交付金 0																			
執行率 0.6% 3.2% 99.2%		04 共済費 0 19 扶助費 0		05 災害補償費 0 20 貸付金 0		06 恩給及び退職年金 0 21 補償、補填及び賠償金 0																			
国庫支出金 0 0 0		07 報償費 0 22 償還金、利子及び割引料 125,018		08 旅費 0 23 投資及び出資金 0		09 交際費 0 24 積立金 0																			
県支出金 0 0 0		10 需用費 0 25 寄附金 0		11 役務費 0 26 公課費 0		12 委託料 0 27 繰出金 0																			
地方債 0 0 0		13 使用料及び賃借料 0 予備費 0		14 工事請負費 0		15 原材料費 0 合計 125,018																			
その他 0 0 0		主財源		財政調整基金の繰替運用をする際、その期間と利率により支出額に変動が生じるが、毎年最小限の支出額となっている。																					
一般財源 1,338 3,974 125,018		前年比較 14.2% A 297.0% D 3145.9% D		09 交際費 0 24 積立金 0		10 需用費 0 25 寄附金 0																			
職員人件費 25,000 26,000 5,000		総事業コスト 26,338 29,974 130,018		11 役務費 0 26 公課費 0		12 委託料 0 27 繰出金 0																			
前年比較 11.9% A 113.8% D 433.8% D		主財源		13 使用料及び賃借料 0 予備費 0		14 工事請負費 0																			
15 原材料費 0 合計 125,018		コスト分析		事業実施内容																					
事業指標・評価		R4年度 R5年度 R6年度		目標値 実績値 目標値 実績値 目標値 実績値		達成率 評価 達成率 評価 達成率 評価																			
成果1 資金計画表入力の活用及び周知回数		12.0 12.0 0.0 12.0 12.0 12.0		100.0% B 100.0% B																					
成果2		0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0		0.0 0.0 0.0 0.0																					
効率1		0.0 0.0 0.0 0.0 0.0 0.0		0.0 0.0 0.0 0.0																					
事業実施内容		資金を確実、安全かつ効率的に運用する目的のため、資金計画表を活用して歳計現金の資金不足に対応し、繰替運用に係る利息を支出した。																							
R7年度 実施内容		○一時借入金金利子償還業務 ・一時借入金金利子 ・資金計画の策定 ・資金調達の実施 等		下期実施内容変更見込み																					
R8年度 実施内容		R7年度比較増減要因 R9年度増減見込み																							
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明		資金を確実・安全かつ効率的に運用する目的のため、歳計現金の資金不足の際に必要なに応じて財政調整基金の繰替運用等の一時借入を行うことにより支払事務の円滑化が図られる。そのため本事業は必要であると考えらる。																							

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	会計課	担当係		重点事業		事業成果	事業課題						
R6	事業名	会計管理事業														
総合計画	体系・概要	基本目標	67 行政活動に伴う債権・債務処理が、適正かつ効率的に行われるようにする													
		政策	2 適正な歳入・歳出処理													
		施策	1 公金の歳入・歳出事務を適正に処理する													
		公金の歳入・歳出等の会計業務に関して、会計管理事業において、関係調書の審査・確認や決算書の調製等を実施し、適正な事務の執行を図る。					関係調書の審査・確認及び是正指導を行い、不備調書の削減に努めるとともに、決算書の調製及び法定調書作成等の処理を行う。									
事業コスト分析	事業の目的	事業の概要	各評価結果										総合判定評価			
			事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						B	事業の進め方の改善の検討		
			一般財源	成果	1	S	評価視点		評価内容							
											334.7%	D				
			総事業コスト	D	1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」							
			194.5%				D	効率		必要性	4:高い					
			歳入・歳出に関する調書等の確実な審査・確認処理により、適正な会計事務が執行されている。決算書及び封筒の印刷製本費や派出窓口手数料等の必要コストのみで事業が構成され執行していることから、現状維持が妥当である。										R8年度の方向性			
			コスト		縮小↓		成果		維持→							
			改善		①事業の進め方											
			課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性													
			①公金取扱手数料をできるだけ抑えるため、歳入については各所属に税金等の納付方法を口座振替にすることの推奨や手数料等の納付書発行枚数の削減の協力を求め、歳出については、支払方法を取扱手数料が少額である口座振込を選択することを推奨し、振込口座の相違等がなく確実に完了できるよう調書の審査・確認を強化する。													
			②適正な決算書調製のため、各会計の出納閉鎖後の処理を迅速に行う。													
③個人情報の漏えいを防ぐため、個人番号通知書を扱う部署に対し漏えい防止の周知を行う。																
CHECK評価	実行計画事業（円）	実施内容	実施内容										実施内容			
			款		項		目		事業番号		事業名称					
			2	1	4	100000	会計管理費									
			予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
			24,548,000	8,061,000	148.9%	403,000	0	0		0	24,145,000					
			○公金の歳入・歳出事務 ・市税の収入及び支払に関する事務 ・歳入歳出外現金の出納管理 ・監査資料作成事務 ・決算書の調製事務 ・法定調書作成事務 等										下期実施内容変更見込み			
			計画額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
			23,980,000	△ 568,000	97.7%	0	0	0		0	23,980,000					
			実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 公金の歳入・歳出事務を適正に執行するため、市税等の歳入及び歳出に関する事務処理や出納管理を迅速かつ確実に行う必要がある。また、法定調書作成や決算書の調製についても必要不可欠な事務であるため、本事業は継続して実施する。										R7年度比較増減要因	R9年度増減見込み	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	会計課	担当係		重点事業		事業成果	事業課題					
R6	事業名	会計管理総務事業													
総合計画	体系・概要	基本目標	67 行政活動に伴う債権・債務処理が、適正かつ効率的に行われるようにする												
		政策	3 適正な会計事務処理												
		施策	1 適正な会計事務処理のレベル向上を図る												
事業の目的	事業の概要	適正な会計事務処理のレベル向上を図るため、会計管理総務事業において、研修会等に参加することにより会計事務に係る知識を習得し、会計業務の円滑化と効率化を図る。				研修等の参加により事務処理方法等の把握及び情報交換による知識の習得に努め、職員の事務処理能力向上や効率化を図る。また、各課会計事務担当者への適切な周知・指導を行うことにより、会計事務処理を円滑に行う。									
事業コスト分析	決算（円）	款	項	目	事業番号	事業名称									
		2	1	4	200000	会計管理総務費									
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
		2,445,000		2,874,000		429,000	117.5%		0	0	0	0	2,874,000		
		項目	R4年度	R5年度	R6年度	事業費内訳									
		予算額	2,441,000	2,445,000	2,874,000	節	決算額	節	決算額						
		決算額	2,439,483	2,440,634	2,869,238	01 報酬	2,161,536	16 公有財産購入費	0						
		不用額	1,517	4,366	4,762	02 給料	0	17 備品購入費	0						
		執行率	99.9%	99.8%	99.8%	03 職員手当等	670,302	18 負担金、補助及び交付金	37,400						
財源内訳	主財源	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0						
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0						
		一般財源	2,439,483	2,440,634	2,869,238	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0						
		前年比較	99.0% B	100.0% D	117.6% D	09 交際費	0	24 積立金	0						
		職員人件費	3,323,000	2,746,000	26,000	10 需用費	0	25 寄附金	0						
		総事業コスト	5,762,483	5,186,634	2,895,238	11 役務費	0	26 公課費	0						
		前年比較	136.4% D	90.0% B	55.8% A	12 委託料	0	27 繰出金	0						
		一般財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0						
主財源				14 工事請負費	0										
主財源				15 原材料費	0	合計	2,869,238								
コスト分析	主な支出は会計課会計年度任用職員1名分の報酬及び期末勤勉手当と研修の旅費及び負担金であり、事業費の大きな変動はない。														
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度					
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
		成果1	出納事務研修会等の参加回数	回	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			
		成果2			3	7			100.0%	B	100.0%	B			
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		効率2			0	0									
		効率3			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		効率4			0	0									
		事業実施内容	①静岡県市政事務研究会(会計部会)及び職員研修(源泉事務)に参加した。 ②不備調書の件数を毎月集計し、年3回集計結果を通知することにより注意喚起を行った。												
		事業実施内容													
事業成果	事業課題	各評価結果										総合判定評価			
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						B	事業の進め方の改善の検討		
決算前年比	一般財源		成果	1	B	評価視点		評価内容		R8年度の方向性					
	117.6%	D				2		効率性	4:高い	A	現状維持	コスト	縮小↓	成果	維持→
担当評価	事業成果	事業課題	総事業コスト		効率	1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」	①事業の進め方				
			55.8%	A				必要性	4:高い		改善				
評価分析・総合判定評価	事業成果	事業課題	研修等への参加により事務処理方法や専門的知識を習得することができ、会計事務担当者への適切な周知・指導を行うことができた。人件費を除いた支出は職員研修負担金であり必要なコストのみで構成されていることから、現状維持が妥当である。												
加える変化	事業成果	事業課題	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性												
			①他市の担当者と情報交換を行うため、各種手段にて積極的に繋がりをもち情報収集に努める。 ②適正かつ的確な会計処理を継続して行うため、引き続き係員の専門的な知識の向上を図り、不備調書の削減に繋がるよう随時周知・指導を行う。												
実行計画事業（円）	R7年度	実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称								
			2	1	4	200000	会計管理総務費								
			予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
			3,182,000	308,000	110.7%		0	0	0	0	3,182,000				
			○会計事務管理業務 ・会計事務処理の周知・指導 ・出納事務実務研修の参加 等								下期実施内容変更見込み				
			計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
			2,893,000	△ 289,000	90.9%		0	0	0	0	2,893,000				
			R8年度	実施内容									R7年度比較増減要因		
													R9年度増減見込み		
			事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明									
円滑に会計事務処理するため会計事務担当者へ適切な指導等を行う必要があり、係員の専門的知識の習得や向上を図るために研修受講や情報共有が必要なことから、本事業は継続して実施する。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		事業成果	事業課題	
R6	事業名	議会会議事業									
総合計画	体系・概要	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実								
		政策	1 開かれた議会の推進								
		施策	1 本会議・委員会等の運営								
		議員及び議会の活動の支援、円滑かつ適正な議会運営を図る。					こども議会の開催、ペーパーレス会議の運営、他市議会視察受け入れなど、議員、議会活動の支援や、円滑な議会運営を行う。				
事業コスト分析	事業の目的	事業の概要									
		事業の目的									
		事業の概要									
		事業の目的									
		事業の概要									
		事業の目的									
		事業の概要									
		事業の目的									
		事業の概要									
		事業の目的									
事業実施内容	事業実施内容	事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									
		事業実施内容									

事業成果

事業課題

各評価結果										総合判定評価			
事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						B	事業の進め方の改善の検討		
一般財源		D	成果	1	S	評価視点		評価内容					
102.2%	D			2		効率性	4:高い	A	現状維持				
総事業コスト				1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇄「計画通り」					
104.8%	D		効率			必要性	4:高い						
①ペーパーレス会議の運用など適切な事務処理を行い、議員及び議会の活動支援や議会運営を実施することができた。 ②こども議会の開催は引き続き実施されている。継続することが必要である。 ③改選や外壁工事の時期と重なったため、断った団体もあったが、多くの団体からの受入ができています。 ④議会改革については、少しずつではあるが、できることから確実に実施できた。													

評価分析・総合判定評価

加える変化

課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性													
①引き続き議会改革を推進し、議会運営や議会活動の向上を図る。また、議会のICT化を推進することにより、議員又は議会の活動の幅が広がり質の高い活動が見込まれる。急速に発展している生成AIによる議事録作成などICTの活用により、より良い活動の推進が見込まれるため、今後も継続して取り組んでいく。 ②募集要件については、より多く参加するようにしていく必要がある。継続的に行うことで、議会をはじめ行政に関心を持たせるようにしていきたい。 ③行政視察については、基本的には受け入れる方向性は変わらないため、今後も受け入れていくが、改選により対応される議員も変わられるため、対応についてはしっかりとした準備が必要である。 ④議会改革については、まだ実施できてない改革項目や改正により議会改革推進委員も変わるため、内容について改めて確認するとともに													

款	項	目	事業番号	事業名称									
1	1	1	600000	議会会議費									
R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
3,918,000		3,972,000		54,000	101.4%		0	0	0	0	3,972,000		
事業費内訳													
項目	R4年度		R5年度		R6年度		事業費内訳						
予算額	31,384,000		3,918,000		3,972,000		節	決算額	節	決算額			
決算額	31,301,356		3,740,377		3,824,418		01 報酬	0	16 公有財産購入費	0			
不用額	82,644		177,623		147,582		02 給料	0	17 備品購入費	396,924			
執行率	99.7%		95.5%		96.3%		03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0			
財源内訳	国庫支出金	0		0		0		04 共済費	0	19 扶助費	0		
	県支出金	0		0		0		05 災害補償費	0	20 貸付金	0		
	地方債	0		0		0		06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0		
	その他	0		0		0		07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0		
	一般財源	31,301,356		3,740,377		3,824,418		08 旅費	222,400	23 投資及び出資金	0		
前年比較	1060.9% D		11.9% A		102.2% D		09 交際費	104,500	24 積立金	0			
職員人件費	7,294,000		1,599,000		1,769,000		10 需用費	286,151	25 寄附金	0			
総事業コスト	38,595,356		5,339,377		5,593,418		11 役務費	1,166,643	26 公課費	0			
前年比較	364.2% D		13.8% A		104.8% D		12 委託料	657,800	27 繰出金	0			
主財源							13 使用料及び賃借料	990,000	予備費	0			
							14 工事請負費	0					
							15 原材料費	0	合計	3,824,418			
令和6年度において、議員用防災服を購入した。また、議長会等への随行、各種会議への出席、議会ペーパーレスシステム使用料支払、タブレット端末通信料支払等を行った。													

実行計画事業

実施内容

款	項	目	事業番号	事業名称							
1	1	1	600000	議会会議費							
予算額		前年増減額		前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,768,000		1,796,000		145.2%		0	0	0	0	5,768,000	
R7年度	実施内容	○議会運営に係る各種経費 こども議会記念品、ペーパーレス会議システム(システム使用料)、普通旅費、議長交際費、消耗品、視察対応茶菓子等、タブレット端末(通信料)、会場使用料、自動車借上料、図書購入費 他									
		下期実施内容変更見込み									
計画額		前年増減額		前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,349,000		△ 419,000		92.7%		0	0	0	0	5,349,000	
R8年度	実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 議員又は議会の活動支援・適切な議会運営を図るため、実施内容は妥当であると判断する。									

5

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		C H E C K 評 価	事業 成果	①本会議の映像配信23日分(前年22日分)、本会議の会議録掲載23日分(22日分)を配信したことにより、議会の情報を広く発信することができた。 ②議会だより5回(前年4回)発行したことにより、議会の情報を広く発信することができた。 ③議会公式Facebookへの投稿22回(前年41回)、ホームページを105回(前年142回)更新し、議会の情報を広く発信することができた。	事業 課題	②改選があったため、細かなルールについては、引き続き議会だより編集委員会で確認していく。 ③ホームページの更新回数が多く事務に苦慮している。また、令和3年度下半期からFacebookでの情報発信を開始したため、さらに事務量が増加している。開かれた議会を目指すため、情報発信は必要であるが、発信する内容等の精査、どのような事務処理を行うか課題である。		
R6	事業名	議会情報発信事業													
総合計画	体系・概要	事業の目的	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実											
			政策	1 開かれた議会の推進											
			施策	2 議会情報の公開											
			議会の公正性及び透明性を確保するため、議会の情報発信を行い、市民に開かれた議会を目指す。	本会議及び常任委員会の会議録作成に伴う反訳業務の委託、年4回の本会議の映像配信業務、年4回の議会広報誌の発行業務を行い、議会の情報を広く発信する。											
事業コスト分析	決算(円)	事業の概要	款	項	目	事業番号	事業名称								
			1	1	1	400000	議会情報発信費								
			R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
			8,831,000		9,889,000		1,058,000	112.0%		0	0	0	0	9,889,000	
			項目	R4年度	R5年度	R6年度	事業費内訳								
			予算額	8,688,000	8,831,000	9,889,000	節	決算額	節	決算額					
			決算額	7,874,507	8,263,987	8,694,033	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0					
			不用額	813,493	567,013	1,194,967	02 給料	0	17 備品購入費	0					
			執行率	90.6%	93.6%	87.9%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0					
決算内訳	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0						
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0						
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0						
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0						
		一般財源	7,874,507	8,263,987	8,694,033	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0						
		前年比較	102.2%	D	104.9%	D	105.2%	D	09 交際費	0	24 積立金	0			
		職員人件費	2,097,000	1,409,000	2,115,000	10 需用費	1,543,293	25 寄附金	0						
		総事業コスト	9,971,507	9,672,987	10,809,033	11 役務費	0	26 公課費	0						
		前年比較	100.4%	D	97.0%	B	111.7%	D	12 委託料	7,150,740	27 繰出金	0			
		主財源					13 使用料及び賃借料	0	予備費	0					
					14 工事請負費	0									
					15 原材料費	0	合計	8,694,033							
コスト分析	年4回及び臨時号の議会だよりを作成した。また、反訳業務、映像配信システム、会議録システムの業務委託を行った。														
指標・実施内容	指標評価	事業実施内容	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度				
			指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
					年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価			
			成果1	情報発信回数	件	0.0	0.0	52.0	185.0	52.0	157.0	52.0	130.0		
					1	7	355.8%	S	301.9%	S	250.0%	S			
			成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					0	0									
			効率1	電子媒体を使用した情報発信回数	件	0.0	0.0	48.0	180.0	48.0	0.0	48.0	125.0		
					1	7	375.0%	S	0.0%	D	260.4%	S			
			①議会の公正性及び透明性を確保するため、本会議の映像配信及び会議録の掲載を行った。 ②議会活動をより広く市民に周知するための議会だよりの発行した。 ③議会の実施内容等の情報発信を行った。												
C H E C K 評 価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性													
		②改選により議会だより編集委員も変更になったため、違う視点による議会だよりの作成も考えられ、より多くの方に見ていただく広報紙として作成していく。 ③ホームページや議会公式Facebookなど、様々な情報発信ツールがある中、必要な情報を精査することにより事務量の減を図る。特にホームページは、掲載方法を工夫することにより、更新回数の減や見易さの向上が見込まれるため、掲載方法の工夫に取り組む。													
実行計画事業(円)	R7年度 実施内容	款	項	目	事業番号	事業名称									
		1	1	1	400000	議会情報発信費									
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		10,342,000	453,000	104.6%		0	0	0	0	10,342,000					
		○情報発信に伴う各種業務 議会だより発行、会議録反訳業務委託、議会映像配信業務委託、会議録検索システム管理運用業務委託									下期実施内容変更見込み				
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		9,753,000	△ 589,000	94.3%		0	0	0	0	9,753,000					
		R8年度 実施内容												R7年度比較増減要因	
														R9年度増減見込み	
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 議員又は議会の活動支援・適切な議会運営を図るため、実施内容は妥当であると判断する。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		事業成果	事業課題				
R6	事業名	公用車管理事業(議会事務局)												
総合計画	体系・概要	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実											
		政策	2 議員活動の支援の実施											
		施策	1 正副議長の活動支援											
事業の目的	事業の概要	議長の公務活動に必要な車両を適正に維持管理する。				普通車1台の適正な維持管理								
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称								
		1	1	1	300000	公用車管理費(議会事務局)								
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
		131,000		205,000		74,000	156.5%		0	0	0	0	205,000	
		項目		R4年度		R5年度		R6年度		事業費内訳				
		予算額		192,000		131,000		205,000		節	決算額	節	決算額	
		決算額		153,696		118,428		167,138		01 報酬	0	16 公有財産購入費	0	
		不用額		38,304		12,572		37,862		02 給料	0	17 備品購入費	0	
		執行率		80.1%		90.4%		81.5%		03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	0	
決算内訳	財源内訳	国庫支出金	0		0		0		04 共済費	0	19 扶助費	0		
		県支出金	0		0		0		05 災害補償費	0	20 貸付金	0		
		地方債	0		0		0		06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0		
		その他	0		0		0		07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0		
		一般財源	153,696		118,428		167,138		08 旅費	0	23 投資及び出資金	0		
		前年比較	398.1% D		77.1% A		141.1% D		09 交際費	0	24 積立金	0		
		職員人件費	47,000		2,000		0		10 需用費	104,088	25 寄附金	0		
		総事業コスト	200,696		120,428		167,138		11 役務費	30,250	26 公課費	32,800		
		前年比較	178.2% D		60.0% A		138.8% D		12 委託料	0	27 繰出金	0		
		主財源							13 使用料及び賃借料	0	予備費	0		
						14 工事請負費	0							
						15 原材料費	0	合計	167,138					
コスト分析	2月に車検を行った。ガソリン単価が上がっている。													
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度				
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
		成果1	公用車の運用状況報告回数	回	0.0	0.0	30.0	45.0	30.0	51.0	30.0	47.0		
					1	7	150.0%	S	170.0%	S	156.7%	S		
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
					0	0								
		効率1	燃料費	ℓ	0.0	0.0	360.0	242.2	360.0	373.7	360.0	0.0		
					1	7	148.6%	S	96.3%	B				
		・正副議長を対象とした市外で開催される会議等へ参加するため、議長車で送迎を行うことから、公務に支障が無いよう、議長車の適切な維持管理(点検・車検等)を行う。												
		事業実施内容												
実施内容	R7年度	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性												
		・他市議会と違い、事務職員が運転手を行っている中、議長車の管理や正副議長送迎等を行う職員(会計年度任用職員等)を専属で配置することにより、議長車の稼働、事務職員の時間内での事務時間の確保が見込まれる。												
実施内容	R8年度	款	項	目	事業番号	事業名称								
		1	1	1	300000	公用車管理費(議会事務局)								
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
77,000		△ 128,000	37.6%		0	0	0	0	77,000					
○議長車の管理 燃料代、議長車(クラウン)点検		下期実施内容変更見込み												
計画額		前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
205,000		128,000	266.2%		0	0	0	0	205,000					
R7年度比較増減要因														
R9年度増減見込み														
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明														
・議長の公務活動に必要な車両を適正に維持管理を行うため、実施内容は妥当であると判断する。														

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		事業成果	事業課題			
R6	事業名	政務活動費支給事業											
総合計画	体系・概要	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実										
		政策	2 議員活動の支援の実施										
		施策	2 会派活動の支援										
事業の目的	事業の概要	議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、政務活動費を交付する。			議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、菊川市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議会における会派又は会派に所属していない議員に対して政務活動費を交付する。								
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		1	1	1	200000	政務活動費							
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		1,700,000		1,700,000		0	100.0%		0	0	0	0	1,700,000
		項目	R4年度	R5年度	R6年度	事業費内訳							
		予算額	1,700,000	1,700,000	1,700,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額	1,037,530	1,608,540	1,410,734	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
		不用額	662,470	91,460	289,266	02 給料	0	17 備品購入費	0				
		執行率	61.0%	94.6%	83.0%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	1,410,734				
決算内訳	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0				
		一般財源	1,037,530	1,608,540	1,410,734	08 旅費	0	23 投資及び出資金	0				
		前年比較	129.8% D	155.0% D	87.7% A	09 交際費	0	24 積立金	0				
		職員人件費	80,000	0	218,000	10 需用費	0	25 寄附金	0				
		総事業コスト	1,117,530	1,608,540	1,628,734	11 役務費	0	26 公課費	0				
		前年比較	121.6% D	143.9% D	101.3% D	12 委託料	0	27 繰出金	0				
		主財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0				
			14 工事請負費	0									
			15 原材料費	0	合計	1,410,734							
コスト分析													
・各会派からの交付申請に基づき交付したが、議員の改選があり、議員の構成も変わった。新しい構成から年度末までの期間が短いこともあったため、予算額に対し決算額が少なくなっている。													
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度			
		指標名		単位	現状値年度	目標値年度	目標値達成率	実績値評価	目標値達成率	実績値評価	目標値達成率	実績値評価	
		成果1	支給額	円	0.01	0.07	1,700,000.0100.0%	1,700,000.0B	1,700,000.094.6%	1,608,540.0B	1,700,000.083.1%	1,412,066.0C	
		成果2			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
					00	00							
		効率1	支給額に対する実績額(率)	%	0.01	0.07	95.0105.3%	100.0B	95.099.6%	94.6B	95.00.0%	0.0D	
		・議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、申請に対し一人当たり100,000円を交付する。											
		事業実施内容											
CHECK評価	事業分析・総合判定評価	各評価結果										総合判定評価	
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						A 計画どおりに事業を進めることが 適当	
		一般財源	B	成果	1	C	評価視点		評価内容				
87.7%	A	2			効率性	4:高い	A	現状維持					
総事業コスト	B	効率		1	D	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」					
101.3%		D			必要性	4:高い							
・申請に対する適切な交付事務がなされているが、近年、支給した政務活動費が有効活用できていない会派があるため、事務局として政務活動費の有効活用についてアドバイスする必要があると考えられる。													
CHECK評価	加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性											
		・交付後の政務活動費支出状況の確認を四半期ごとに通知し、計画的な活用ができているか確認し、指導できる部分は指導する。議会構成が変わったことにより、交付した政務活動費の有効活用を促す。また、支給については、現在各会派と会派に所属していない議員については、個人支給としているが、議会改革推進委員会からは、各会派ではなく個人支給とすべきとの意見もあるため、引き続き検討していく必要がある。											
CHECK評価	実行計画事業(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		1	1	1	200000	政務活動費							
		予算額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		1,700,000	0	100.0%		0	0	0	0	1,700,000			
		○政務活動費の交付(100,000円×17人)							下期実施内容変更見込み				
		計画額	前年増減額	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
		1,700,000	0	100.0%		0	0	0	0	1,700,000			
		実施内容								R7年度比較増減要因			
										R9年度増減見込み			
			事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明										
・菊川市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき交付されるものであり、実施内容は妥当であると判断する。													

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		事業成果	事業課題			
R6	事業名	議員報酬等事業											
総合計画	体系・概要	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実										
		政策	2 議員活動の支援の実施										
		施策	3 現職議員の支援										
		事業の目的	地方自治法第203条の規定に基づき、議員に対する報酬、期末手当及び費用弁償を支給する。		事業の概要					議員活動の対価として菊川市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例に基づき、報酬、期末手当、費用弁償等を支給する。			
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		1	1	1	100000	議員報酬等費							
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		105,825,000		104,088,000		△ 1,737,000	98.4%		0	0	0	0	104,088,000
		項目	R4年度	R5年度	R6年度	事業費内訳							
		予算額	104,426,000	105,825,000	104,088,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額	104,276,615	105,524,534	103,862,908	01 報酬	62,742,303	16 公有財産購入費	0				
		不用額	149,385	300,466	225,092	02 給料	0	17 備品購入費	0				
		執行率	99.9%	99.7%	99.8%	03 職員手当等	22,210,105	18 負担金、補助及び交付金	0				
決算内訳	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	18,152,600	19 扶助費	0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0				
		一般財源	104,276,615	105,524,534	103,862,908	08 旅費	757,900	23 投資及び出資金	0				
		前年比較	101.5% D	101.2% D	98.4% B	09 交際費	0	24 積立金	0				
		職員人件費	276,000	594,000	201,000	10 需用費	0	25 寄附金	0				
		総事業コスト	104,552,615	106,118,534	104,063,908	11 役務費	0	26 公課費	0				
		前年比較	101.6% D	101.5% D	98.1% B	12 委託料	0	27 繰出金	0				
		主財源				13 使用料及び賃借料	0	予備費	0				
			14 工事請負費	0									
			15 原材料費	0	合計	103,862,908							
コスト分析													
・期末手当の算出にかかる係数が改正されたこと及び議長他議員の会議等への出席が増えたことにより、支出額が前年度より増えた。													
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度			
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
				年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価		
		成果1	報酬支給の円滑かつ適正な執行状況	円	0.0	0.0	62,760,000.0	62,759,475.0	62,760,000.0	62,580,000.0	62,760,000.0	62,742,303.0	
					1	7	100.0%	B	99.7%	B	100.0%	B	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0							
		効率1			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0							
		事業実施内容											
・議員に対し、条例で定められた報酬及び期末手当、費用弁償を適切に支給する。													

事業成果	各評価結果										総合判定評価						
	事業コスト評価		指標評価		事業内容評価						A	計画どおりに事業を進めることが 適当					
	一般財源	B	成果	1	B	評価視点		評価内容									
	98.4%		2		効率性	4:高い	A	現状維持									
総事業コスト	B		効率	1		有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」		R8年度の方向性							
98.1%			必要性	4:高い			コスト	維持→	成果	維持→							
①事業の進め方																	
・毎月の報酬及び6月・12月の期末手当、会議参加に伴う費用弁償の支給については滞りなく適切な処理がされ支給することができている。																	
担当評価	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性																
・議会基本条例第20条に基づき、改選前の年度(令和6年度)に議会アンケートなどの結果を基に、議会改革推進委員会等で議員定数、議員報酬の検討を行い、必要となれば条例改正議案を提出する。																	
加える変化	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性																
	・議会基本条例第20条に基づき、改選前の年度(令和6年度)に議会アンケートなどの結果を基に、議会改革推進委員会等で議員定数、議員報酬の検討を行い、必要となれば条例改正議案を提出する。																
実行計画事業(円)	款	項	目	事業番号	事業名称												
	1	1	1	100000	議員報酬等費												
	予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
	104,098,000		10,000		100.0%			0	0	0	0	104,098,000					
	R7年度 実施内容	○各報酬等の支払い 議長報酬、副議長報酬、委員長報酬、議員報酬、議員期末手当、議員共済費、議員共済事務費負担金、費用弁償										下期 実施 内容 変更 見 込 み					
	R8年度 実施内容	計画額	前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		104,024,000	△ 74,000		99.9%			0	0	0	0	104,024,000					
												R7年度 比較 増減 要因					
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明																	
・地方自治法第203条第3項及び第4項の規定に基づき、議員に対する報酬等の支払いであるため、実施内容は妥当であると判断する。																	

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	議会事務局(局)	担当係	議会事務局	重点事業		C H E C K 評 価	事業 成果	①県市議会議長会が主催する議員研修会(7/18)に参加し、議員の研鑽が図られた。 ②原子力勉強会については、第1回目を関西電力美浜原子力発電所施設(福井県美浜町)及び日本原子力発電美浜原子力緊急事態支援センター(福井県美浜町)の視察を7月24日・25日に実施し、稼働している原子力施設、廃炉処理や原子力災害時における緊急事態等を支援する施設について、また第2回目については、12月定例会、議員の改選時期と重なったことから中止とした。 ③議会基本条例第14条に基づく議員研究会を1回開催し、静岡県の職員を講師としネットゼロ社会における脱炭素社会実現に向けた県の取組についての知識向上が図れた。	事業 課題	②浜岡原子力発電所の再稼働に関する意見書に基づく原子力勉強会については、意見書提出から数年が経過し、新たに計画する勉強会を組み立てるのが困難になってきた。 ③議会基本条例に基づく議員勉強会の講師派遣料が10万円であるため予算内で講師を招致(リモート含む)することが難しいことが課題である。		
R6	事業名	議会研修等負担金													
総合計画	体系・概要	基本目標	77 市民の代表である市議会議員の活動が円滑かつ適正に行われるとともに、効率的で開かれた議会の運営ができる環境の充実												
		政策	2 議員活動の支援の実施												
		施策	3 現職議員の支援												
事業の目的	事業の概要	調査事件に係る情報収集、及び議会の運営と市政各般の事項を調査研究することや、各市議会議長会や協議会に参加し、他の市議会等との情報交換や交流を図る。				議会運営委員会・常任委員会の視察研修を実施し、調査事件に係る情報収集、及び議会の運営と市政各般の事項を調査研究する。 他の市議会等との情報交換や交流のため、各市議会議長会や協議会に参加する。									
		各評価結果										総合判定評価			
		事業コスト評価		指標評価		事業内容評価				B	事業の進め方の改善の検討				
決算 前年 比	一般財源		D	成果	1	B	評価視点		評価内容						
	132.1%	D			2		効率性	4:高い	A				現状維持		
	総事業コスト				1	B	有効性	4:高い	計画の進捗と成果に近い状態⇔「計画通り」						
135.1%	D			効率		必要性	4:高い			R8年度の方向性					
担当 評価	②原子力勉強会の研修会等は、第1回目は実施できたが、第2回目については、研修会としては、様々な要因が重なり、実施できなかったが、来年度の早々にその内容に即した研修会の実施を行う予定である。 ③計画どおり実施できた。										コスト		縮小↓	成果	維持→
	改善		①事業の進め方												
	課題に対する改善案と想定される成果及び今後の方向性														
加える 変化	②原子力勉強会については、今後どのような内容の知識習得を行うか議会として協議し組み立てること、 ③議員研究会の講師派遣料については、全国市議会議長会が定める標準講師料(交通費宿泊費は別)と同額を予算計上し、議員が求める知識向上が図れる研修を行う。														
	款	項	目	事業番号		事業名称									
	1	1	1	700000		議会研修等負担金									
R7 年度 実施 内容	予算額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,954,000		780,000		166.4%			0	0	0	0	1,954,000			
	○議員研修に伴う研修の実施 各委員会視察研修(議会運営委員会・各常任委員会)、議員研究会の開催経費 ○各議長会・協議会等への負担金の支払い 各市議会議長会負担金(全国・東海・県・県西部地区)、全国自治体病院経営都市議会協議会・全国高速自動車道市議会協議会の負担金										下期実施内容変更見込み				
R8 年度 実施 内容	計画額		前年増減額		前年比		財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	1,760,000		△ 194,000		90.1%			0	0	0	0	1,760,000			
											R7 年度 比較 増減 要因				
R9 年度 増減 見込み															
事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明															
事業目的は、調査事件に係る情報収集、調査研究、他の市議会等との情報交換や交流を図ることであり、実施内容は妥当であると判断する。															

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	監査委員事務局(局)	担当係	監査委員事務局	重点事業		事業成果	事業課題									
R6	事業名	監査事業																	
総合計画	体系・概要	基本目標	55 公正で合理的かつ効率的な行政運営に資する																
		政策	1 適正な監査等の実施																
		施策	1 定期監査・決算審査等の実施																
		公正で合理的かつ効率的な行政運営を図るため、適正な監査・検査・審査を実施する。				定期監査、財政援助団体等の監査、例月出納検査、決算審査等を実施する識見監査委員と議会選出監査委員の報酬。													
事業コスト分析	事業の目的	事業の概要	事業費内訳																
			款 項 目		事業番号		事業名称												
			2	6	1	100000	監査費												
			R5年度		R6年度		前年増減		前年比		財源内訳		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
			1,320,000		1,320,000		0		100.0%				0	0	0	0	1,320,000		
			項目		R4年度		R5年度		R6年度		事業費内訳								
			予算額		1,320,000		1,320,000		1,320,000		節		決算額		節		決算額		
			決算額		1,320,000		1,320,000		1,279,353		01 報酬		1,279,353		16 公有財産購入費		0		
			不用額		0		0		40,647		02 給料		0		17 備品購入費		0		
			執行率		100.0%		100.0%		96.9%		03 職員手当等		0		18 負担金、補助及び交付金		0		
			財源内訳	国庫支出金		0		0		0		04 共済費		0		19 扶助費		0	
				県支出金		0		0		0		05 災害補償費		0		20 貸付金		0	
				地方債		0		0		0		06 恩給及び退職年金		0		21 補償、補填及び賠償金		0	
その他		0		0		0		07 報償費		0		22 償還金、利子及び割引料		0					
一般財源		1,320,000		1,320,000		1,279,353		08 旅費		0		23 投資及び出資金		0					
前年比較		100.0% C		100.0% C		96.9% B		09 交際費		0		24 積立金		0					
主財源	職員人件費		25,000		21,000		7,000		10 需用費		0		25 寄附金		0				
	総事業コスト		1,345,000		1,341,000		1,286,353		11 役務費		0		26 公課費		0				
	前年比較		101.9% D		99.7% B		95.9% B		12 委託料		0		27 繰出金		0				
									13 使用料及び賃借料		0		予備費		0				
								14 工事請負費		0									
								15 原材料費		0		合計		1,279,353					
CHECK評価	事業実施内容	コスト分析	事業費は監査委員の報酬である。監査委員の人数及び報酬は条例に基づき設定されており削減の余地はない。																
CHECK評価	指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価																
			指標名		単位	現状値年度	目標値年度	目標値達成率	実績値評価	目標値達成率	実績値評価	目標値達成率	実績値評価						
			成果1	定期監査の実施、財政援助団体等監査の実施	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0						
						1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B						
			成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
						0	0												
			効率1	監査委員の人数	人	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0						
						1	7	100.0%	B	100.0%	B	100.0%	B						
			・定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、健全化判断比率審査など実施し、結果を議会及び市長に提出及び公表した。																
CHECK評価	事業実施内容	実施内容	R7年度 実施内容												R7年度比較増減要因				
			・定期監査の実施 ・財政援助団体等の監査の実施 ・例月出納検査の実施 ・決算審査の実施 ・健全化判断比率等審査の実施																
			R8年度 実施内容												R9年度増減見込み				
			事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明 監査等を実施後、その結果を議会及び市長等に提出し公表することにより、民主的かつ効率的な行政執行確保に貢献し、住民福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与したことから、今後も継続して実施する。																

事業評価シート

対象年度	事業会計区分	一般会計	担当課	監査委員事務局(局)	担当係	監査委員事務局	重点事業		事業成果	事業課題			
R6	事業名	監査事務事業											
総合計画	体系・概要	基本目標	55 公正で合理的かつ効率的な行財政運営に資する										
		政策	5 監査水準と能力の向上										
		施策	1 研修会・研究会の参加										
事業の目的	事業の概要	各都市監査委員会が主催する総会及び研修会等に参加し、監査委員及び職員の能力向上を図るとともに情報交換による知識の習得に努める。			監査委員と職員が参加する各都市監査委員会が主催する研修会・研究会(全国、東海地区、東海・近畿・北陸三地区共催、静岡県)にかかわる旅費及び負担金								
事業コスト分析	決算(円)	款	項	目	事業番号	事業名称							
		2	6	1	200000	監査事務費							
		R5年度		R6年度		前年増減	前年比	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		505,000		257,000		△ 248,000	50.9%		0	0	0	0	257,000
		項目	R4年度	R5年度	R6年度	事業費内訳							
		予算額	147,000	505,000	257,000	節	決算額	節	決算額				
		決算額	109,100	454,766	231,440	01 報酬	0	16 公有財産購入費	0				
		不用額	37,900	50,234	25,560	02 給料	0	17 備品購入費	0				
		執行率	74.2%	90.1%	90.1%	03 職員手当等	0	18 負担金、補助及び交付金	107,800				
財源内訳	主財源	国庫支出金	0	0	0	04 共済費	0	19 扶助費	0				
		県支出金	0	0	0	05 災害補償費	0	20 貸付金	0				
		地方債	0	0	0	06 恩給及び退職年金	0	21 補償、補填及び賠償金	0				
		その他	0	0	0	07 報償費	0	22 償還金、利子及び割引料	0				
		一般財源	109,100	454,766	231,440	08 旅費	101,640	23 投資及び出資金	0				
		前年比較	223.7% D	416.8% D	50.9% A	09 交際費	0	24 積立金	0				
		職員人件費	2,934,000	2,855,000	3,070,000	10 需用費	22,000	25 寄附金	0				
		総事業コスト	3,043,100	3,309,766	3,301,440	11 役務費	0	26 公課費	0				
		前年比較	86.9% A	108.8% D	99.7% B	12 委託料	0	27 繰出金	0				
		13 使用料及び賃借料	0	予備費	0								
14 工事請負費	0												
15 原材料費	0	合計	231,440										
コスト分析	今年度については、全国都市監査委員会主催の総会・研修会(大阪市開催)が台風となり欠席したことに伴い、関連する普通旅費、費用弁償の支出は少なくなった。												
指標・実施内容	指標評価	事業指標・評価				R4年度		R5年度		R6年度			
		指標名		単位	現状値	目標値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
		年度	年度	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価	達成率	評価		
		成果1	都市監査委員会等の4大研修に監査委員及び事務局が参加する回数	回	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	
					1	7	100.0%	B	100.0%	B	75.0%	E	
		成果2			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0							
		効率1			0.0	0.0	31.0	0.0	31.0	0.0	0.0	0.0	
					0	0	0.0%	D	0.0%	D			
		事業実施内容	・監査委員と職員が参加する各都市監査委員会が主催する総会・研修会等(東海地区、三地区共催、静岡県)に参加した。										
実施内容	事業の目的と実施内容との関連性「有効性と妥当性」の説明												
	各都市監査委員会が主催する総会及び研修会等に参加し、監査委員及び職員の能力向上を図るとともに、情報交換による知識習得に努めて監査業務に反映させるため、今後も継続して実施する。												